

世界は広くて狭い 夢を持とう

北京オリンピックの平野選手のトリプルコーク1440、すごかったですね。完全な成功ではありませんでしたが羽生選手の4回転アクセルも魅せました。東京オリンピックでも日本選手が大活躍でしたが、北京ではついに地元村上出身の選手が金メダル！ 見ている私たちもたくさん勇気と希望をもらいましたね。

最近の日本のアスリートを見ていて思うのですが、みんな競技を本当に楽しんでいるな、ということです。

自分の好きな競技のために、熱心に取り組んで、工夫して、そして何よりも自分を成長させることを楽しんでいるようです。なにかに夢中になるって素敵ですね！

インターネットのおかげで世界はすっかり「狭い」ところになりました。誰でも簡単に海外の情報がリアルタイムで手に入れます。誰でも簡単に世界に自分のことを発信できます。そして誰でも簡単に世界と交流もできます。皆さんの親の世代ではできなかったことが今では簡単にできるのです。親の世代にはなかった夢もたくさん生まれているはずですよ。

前期生の皆さんは将来ずっと熱中できる、そんな夢を持っていますか？ 夢を持っている人は自分を成長させるタネをもっている人だと思います。いろいろなことに興味を持ち、自分だけの夢を持ちましょう。

そして、自分だけの1440を翔んで、決めましょうよ！ がんばれ、前期生！

「目的」と「手段」はとりちがえないで

自分の夢を実現させるためにはもちろん努力も必要です。練習も必要でしょうし、勉強も大事です。例えばサッカーや野球が上手になりたいなら、持久力をつけるという「目的」のためにランニングという「手段」を取ることもあるでしょう。ランニングはもちろん「手段」であって「目的」ではありません。「目的」をしっかりと理解していれば、だんだんランニングをすることはないはずですよ。それじゃ持久力はつきませんから。

でも、「部活動あるある」は、練習メニューにあるから、とって「手段」のランニングをこなすことが「目的」にとって代わってしまうということ。いつの間にか、「持久力をつける」ということよりも「メニューをこなす」ことが目的になっている、というわけです。

目的を忘れた手段は自分の成長にはつながりません。勉強も同じこと。だんだんメニューをこなす、適当に早く終わらせる、そんなふうに「手段」が「目的」になっているって、もったいなくないですか？

学校の授業や課題、朝読書などなども皆さんが成長していく「手段」です。村上中等教育学校の先輩たちが力をつけてきた伝統のある「手段」です。手を抜かず、取り組んでみましょう！ きっと力がつきます。

そして、自分の「目的」にかなった自分だけの「手段」も持てるようになると素晴らしいですね！ まずは目の前の課題から取り組んで、徐々に自分の手段を探っていきましょう！